

もくじ

- ・ ^{きん}金のオノと^{ぎん}銀のオノ

^{きん}金のオノと^{ぎん}銀のオノ

^{げんさく}原作： ^{ぐうわ}イソップ寓話

イラスト： ナナホシ

^{へんしゅう}編集： YellowBirdProject

3

むかしあるところに、^{びんぼう}貧乏ですが、とても^{しょうじきもの}正直者の^き木こりがいました。

ある日、いつものように^{もり}森で木を切っていた^き木こりは、つい^て手をすべらせて、^{あいよう}愛用の^{みづらみ}オノを^お湖に落としてしまいました。

「あ～あ、^{たいせつ}大切なオノなのに。やっちまったなあ・・・」

^き木こりはすっかり^き気を^お落として、^{みづらみ}湖のふちに^{すわ}座りこんでしまいました。



すると突然、湖が金色にかがやき、水の中から、とても美しい女性が姿を現しました。

「私は、この『湖の精霊』です。
なにかこまっているようですが、どうしましたか？」
「はい。この湖に、大切なオノを落としてしまった
のです。あれがないと、仕事できません」
「それはおこまりでしょう。そこで少しお待ちください」

そう言うと湖の精霊は、水の中に消えていきました。

